

2015.6.1-11.30

株主メモ

事業年度 6月1日～翌年5月31日
定時株主総会 8月
基準日 5月31日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

公告の方法 電子公告の方法によります。ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載URL <http://www.pharmarise.com/>
証券コード 2796(東証一部)

株主優待のご案内

株主様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、長期的に当社株式を保有していただくこと、並びに当社グループの事業に対するご理解をより深めていただくことを目的として、株主優待を行っています。

●平成27年11月末基準(平成28年5月期)株主優待品●

対象株主 平成27年11月30日時点で当社株式を1単位(100株)以上保有されている株主様

優待の内容 ①メディカルアロマペンセット
②メディカルアロマピンズセット
③薬用ハミガキ粉 デンタルポリス 2本
の中からおひとつを選択いただけます。

贈呈時期 平成28年3月中旬～4月下旬頃



ファーマライズホールディングス株式会社

株主通信 平成28年5月期
第2四半期

Top Interview

薬ヒグチ&ファーマライズ(株)とともに、新たな挑戦へ

グループ体系

Topics <薬ヒグチ&ファーマライズ(株)の運営を開始／組織再編ほか>

四半期連結財務諸表

会社概要

株主メモ・株主優待のご案内



ファーマライズホールディングス株式会社

〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル
TEL 03-3362-7130 FAX 03-3362-7190

<http://www.pharmarise.com/>

証券コード 2796



Top Interview

トップインタビュー

Your Self-Medication Store

薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社を グループに迎え入れ、新たな挑戦の扉を開きました

Q. 薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社のグループ 入りの目的と方向性について教えてください。

薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社(以下、薬ヒグチ&ファーマライズ)はヒグチ産業株式会社が運営していたドラッグ事業を承継し、平成27年10月1日に当社、ヒグチ産業株式会社及び株式会社ファミリーマートの3社が出資することによりスタートした合併会社です。その主な事業内容はドラッグストア(コンビニエンスストアや調剤薬局併設店舗を含む)及び調剤薬局の運営です。

昨今の医薬分業比率は70%前後となり、調剤薬局においては患者の流動化にともない、面分業店舗が成長しています。従いまして面対応店舗の開発・展開は、当社にとり重要な経営目標と認識しており、利用者の誰もが入りやすい店舗の開発が課題となっております。また、「中期経営計画 Challenge 2017」の基本方針の3つのテーマのうち2つは、①患者及び利用者には選ばれる会社を目指す、②非調剤事業の拡大、であります。①は、地域の、処方せんに基づく薬物療法だけではなくセルフメディケーションに基づく薬物療法や健康支援ニーズに対応していくこと、②では、新たにセルフメディケーション・サポート関連商品の販売に進出することを想定しています。これらの課題解決やテーマの実現に向けて、薬ヒグチ&ファーマライズ

の店舗や保有するノウハウが大きく貢献するものと期待しています。

店舗の目指す方向性については、出資する3社のノウハウや情報を融合しながら立地する属性に応じて、地域住民の健康の増進・維持のために安心とコミュニケーションを提供する「Your Self-Medication Store」、利便性と割得感を提供する「Drug & Convenience Store」を基本フォーマットとして想定しています。これに沿って新規店舗を出店していくとともに、既存店舗も地域特性等を勘案しながら転換していきたいと考えています。

Q. 第2四半期の業績と通期業績見通しについて 教えてください。

当社グループでは、引き続き、面対応店舗を含む新規出店やM&A等により事業基盤の拡大を図っていきます。加えて、セルフメディケーション・サポートに対する取組みや、地域医療(在宅医療及び施設調剤)、後発医薬品使用拡大及び電子お薬手帳の普及推進等の厚生労働省の発表した「患者のための薬局ビジョン」への対応に全力を注いでいます。

こうしたなか、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は213億63百万円(前年同期比10.6%増)、営業利益は

代表取締役執行役員社長

大野 利美知



4億99百万円(同4.3%減)、経常利益は4億22百万円(同2.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億88百万円(同507.8%増)となりました。売上高につきましては8億63百万円の上方修正となりました。これをセグメントごとに説明しますと、「調剤薬局事業」において既存店を中心に薬剤料売上高が期初予想を上回ったことが主な要因であり、「医学資料保管・管理事業」や「その他」におきましては概ね想定どおりの結果となっております。また利益面では営業利益において当初予算比で25百万円の下方修正となりました。この理由としては、「その他」に分類される事業の一部において計画未達がありました。会計方針の変更により薬ヒグチ&ファーマライズの子会社化に係る費用を販売管理費として計上したことが主要因です。一方で同社の連結子会社化に伴い負ののれん発生益を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億88百万円の上方修正となりました。

今後とも地域医療の推進やセルフメディケーション・サポート分野に対する取組みにより売上高を積み上げていくとともに、費用の見直しや削減を進めていく計画です。また薬ヒグチ&ファーマライズを連結子会社化したことにより、同社の業績を第3四半期連結会計期間より取り込むこととなります。以上により通期連結業績は、売上高470億円(前年同期比19.0%増)、営業利益12億70百万円(同11.1%増)、経常利益10億25

百万円(同2.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6億50百万円(同185.2%増)を予想しています。

Q. 中期経営計画に関する取組状況について 教えてください。

「中期経営計画 Challenge 2017」の基本方針は、①患者及び利用者には選ばれる会社を目指す、②非調剤事業の拡大、③投資家には選ばれる会社を目指す、の3つのテーマに沿った施策を実施していくことです。①に関しては、セルフメディケーションに基づく薬物療法や健康支援ニーズに対応していくために、薬ヒグチ&ファーマライズの店舗以外にも既存の調剤薬局店舗から約50店舗を選別し、「セルフメディケーション・サポート店舗」化する取組みを開始しています。②については、薬ヒグチ&ファーマライズの収益性改善及び競争力強化を目的とした施策の実行、並びに成長戦略の策定を急いでおります。また③についても、新規出店及びM&Aによる着実な成長を図るとともに、子会社間の合併や同一地域に展開する複数の事業子会社の店舗を1つの事業子会社に分割・承継させる等の経営効率改善施策を実行しています。

これらの施策は今後とも継続的に実行し、中期経営計画の達成に向けて邁進していく所存です。

グループ形成の理念は**地域医療**

グループ全体で**341店舗**（うち非調剤67店舗）

連結ベース**309店舗**（うち非調剤66店舗）



持分法適用会社	調剤 店舗数	非調剤 店舗数	
有限会社エム・シー	6	1	所有割合34.0% 平成22年3月に 資本業務提携
株式会社 メディカルフロント	—	—	所有割合42.1% 平成23年6月に 資本提携
株式会社 ヘルシーワーク	25	—	所有割合34.0% 平成26年5月に 資本業務提携

連結子会社	調剤 店舗数	非調剤 店舗数	
ファーマライズ 株式会社	92	—	株式会社レイケアセン ターを含む ファーマラ イズ薬局 等
株式会社みなみ薬局	20	—	株式会社東京みなみ薬 局を含む みなみ薬局 等
株式会社 南魚沼郡調剤センター	2	—	南魚沼センター薬局 トリム薬局
株式会社双葉	8	—	双葉薬局 ふたば薬局 ふじのもり薬局
北海道ファーマライズ 株式会社	47	1	株式会社川口薬局、化 粧品販売1店舗を含む ふじい薬局 等
株式会社北町薬局	7	—	キタマチ薬局 等 平成22年1月株式取得
株式会社テラ・ ヘルスプロモーション	8	—	さくら薬局 等 平成23年9月株式取得
新世薬品株式会社	17	—	新世薬局 等※ 平成24年10月 株式取得
株式会社 寿データバンク	—	—	医学資料保管・管理事業 平成24年11月 株式取得
ファーマライズプラス 株式会社	13	—	ファミリーマート+ ファーマライズ薬局 等 平成25年3月設立
株式会社 鬼怒川調剤センター	1	—	たかとおく薬局 平成26年3月 株式取得
株式会社エシックス	14	—	白根調剤センター薬局 等 平成26年4月株式取得
株式会社ドゥリーム	4	—	ゆい薬局 等 平成27年4月株式取得
薬ヒグチ&ファーマライズ 株式会社	10	65	ドラッグストア65店舗を 含む 薬ヒグチ薬局 等 平成27年10月運営開始

※有限会社エス・アンド・エスを含む

薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社の運営を開始

平成27年10月1日付で、ヒグチ産業株式会社が運営していたドラッグ事業を継承し、当社、ヒグチ産業株式会社及び株式会社ファミリーマートの3社の出資による合併会社・**薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社**の運営を開始しました。

これにより、ヒグチ産業株式会社が運営していた調剤薬局10店舗のほか、ドラッグストア65店舗（コンビニエンスストアや調剤薬局併設店舗を含む）が新たにグループ店舗に加わりました。

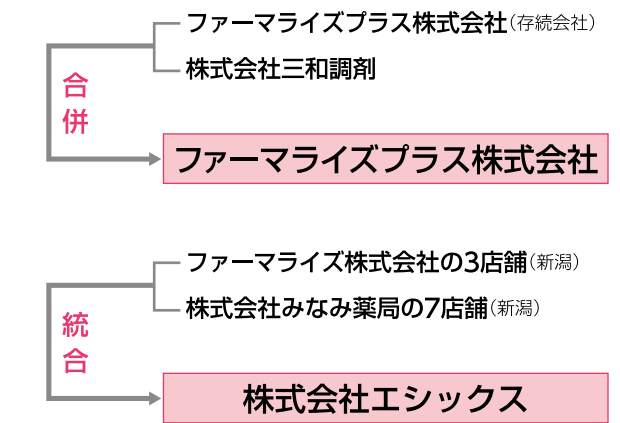
調剤薬局やドラッグストアの持つ専門性とコンビニエンスストアの利便性を、立地特性に応じて柔軟に組み合わせ、地域に選ばれる店舗開発の実現により、収益の拡大及び企業価値の最大化を目指します。



薬ヒグチ&ファーマライズ 住吉駅前店(大阪)

組織再編

経営効率の向上を図るため、平成27年9月に下記の通り連結子会社の合併、店舗の統合を行いました。



開局・出店84店舗（連結ベース）

平成28年5月期上半期(平成27年6月1日～11月30日)は、下記の通り**調剤薬局19店舗**、**ドラッグストア65店舗**を開局・出店いたしました。

調剤薬局店舗	ドラッグストア店舗
6月 東十条店(東京) (有)ドゥリーム(現・(株)ドゥ リーム)の子会社化により 沖縄4店舗を取得	10月 薬ヒグチ&ファーマライズ (株)の子会社化により65店 舗を取得 (内訳)茨城1店舗 千葉2店舗 東京22店舗 神奈川7店舗 石川1店舗 京都4店舗 大阪22店舗 兵庫2店舗 和歌山1店舗 香川2店舗 佐賀1店舗
7月 陸別薬局(北海道) 元浜町店(滋賀)	
8月 旭町店(北海道) 用賀店(東京)	
10月 薬ヒグチ&ファーマライズ (株)の子会社化により東京8 店舗、大阪2店舗を取得	

四半期連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表(要約)		
(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期末 (平成27年11月30日現在)	前期末 (平成27年5月31日現在)
資産の部		
流動資産	10,703	8,257
固定資産	16,728	15,945
有形固定資産	6,920	6,645
無形固定資産	6,420	6,795
投資その他の資産	3,387	2,504
繰延資産	18	22
資産合計	27,450	24,225
負債の部		
流動負債	12,788	10,624
固定負債	8,206	7,789
負債合計	20,994	18,414
純資産の部		
株主資本	5,652	5,592
資本金	1,166	1,166
資本剰余金	1,152	1,234
利益剰余金	3,333	3,191
その他の包括利益累計額	△16	△17
新株予約権	97	67
非支配株主持分	722	168
純資産合計	6,455	5,811
負債及び純資産合計	27,450	24,225

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)		
(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期累計 (平成27年6月1日から 平成27年11月30日まで)	前第2四半期累計 (平成26年6月1日から 平成26年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	650	2,406
投資活動によるキャッシュ・フロー	△230	△450
財務活動によるキャッシュ・フロー	222	△853
現金及び現金同等物の増加額	642	1,102
現金及び現金同等物の期首残高	3,873	3,633
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,516	4,735

■ 四半期連結損益計算書(要約)		
(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期累計 (平成27年6月1日から 平成27年11月30日まで)	前第2四半期累計 (平成26年6月1日から 平成26年11月30日まで)
売上高	21,363	19,307
売上原価	18,016	16,223
売上総利益	3,346	3,084
販売費及び一般管理費	2,847	2,561
営業利益	499	522
営業外収益	57	73
営業外費用	134	184
経常利益	422	411
特別利益	604	1
特別損失	144	3
税金等調整前四半期純利益	882	409
法人税等	299	314
四半期純利益	583	95
非支配株主に帰属する 四半期純損失	5	1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	588	96

- ー 四半期連結貸借対照表 ー
- 薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社の貸借対照表を連結したことにより、現金及び預金、商品並びに差入保証金等を中心に資産は32億24百万円増加しました。同様に買掛金等の増加で負債合計は25億79百万円増加しました。
 - 純資産額は、四半期純利益や非支配株主持分がそれぞれ5億88百万円及び5億54百万円増加した半面、会計方針の変更により3億3百万円、配当金支払いで1億44百万円減少したこと等により6億44百万円の増加となりました。

- ー 四半期連結損益計算書 ー
- 調剤薬局事業において既存店が堅調に推移したことや、新たに取得した株式会社川口薬局等が連結売上高の増収に寄与しました。
 - 薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社の連結子会社化のための費用発生により営業利益は前年同期比2.2百万円の減益となりました。同時に負ののれん発生益5億90百万円を計上したこと等から、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4億92百万円の増益となりました。

- ー 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ー
- 営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加を主因として前年同期比17億55百万円減少の6億50百万円となりました。
 - 投資活動によるキャッシュ・フロー改善は、薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社の株式取得による収入が2億68百万円あったことが貢献しました。
 - 財務活動によるキャッシュ・フローは2億22百万円となりました。これは借入金による調達額が返済額及び社債償還額を超過したためです。

会社概要

- 会社概要(平成27年11月30日現在)
- 設 立――昭和59年6月
- 社 名――ファーマライズホールディングス株式会社
- 資本金――1,166,819千円
- 本店所在地――東京都中野区中央1-38-1
- 主な事業内容――持株会社(調剤薬局事業などを営むグループ会社を統括する管理運営会社)
- ホームページ――http://www.pharmarise.com/
- 主要取引銀行――株式会社三菱東京UFJ銀行
株式会社横浜銀行
株式会社みずほ銀行 他
- 連結従業員数――1,805名(非常勤含む)

- 役 員(平成27年11月30日現在)

- 代表取締役執行役員社長――大 野 利美知
- 専務取締役執行役員――秋 山 昌 之
- 専務取締役執行役員――岩 崎 哲 雄
- 常務取締役――大 野 小夜子
- 常務取締役――小 高 芳 夫
- 取締役執行役員――菅 野 洋
- 取締役(社外)――尾 中 哲 夫
- 取締役(社外)――渡 邊 則 夫
- 常勤監査役――加 部 英 視
- 常勤監査役(社外)――西 郷 理 夫
- 監査役(社外)――佐 藤 勝

- 株式の状況(平成27年11月30日現在)

- 発行可能株式総数――31,398,000株
- 発行済株式総数――9,006,380株
- 株主数――8,451名

- 大株主の状況(平成27年11月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大野 利美知	3,159,900	35.1
中北薬品株式会社	396,000	4.4
株式会社バイタルネット	396,000	4.4
株式会社ほくやく	396,000	4.4
ファーマライズ従業員持株会	327,500	3.6
大野 小夜子	253,200	2.8
エア・ウォーター株式会社	150,000	1.7
日医工株式会社	150,000	1.7
平松 仁	132,100	1.5
明治安田生命保険相互会社	100,000	1.1

- 主要仕入先

- 株式会社ほくやく
株式会社バイタルネット
中北薬品株式会社
株式会社ケーエスケー 他

- 主要な連結子会社(平成27年11月30日現在)

名 称	住 所	事業内容
ファーマライズ株式会社	東京都中野区	調剤薬局事業
株式会社みなみ薬局	静岡県御殿場市	
株式会社南魚沼郡調剤センター	新潟県南魚沼市	
株式会社双葉	京都府京都市	
北海道ファーマライズ株式会社	北海道苫小牧市	
株式会社北町薬局	東京都練馬区	
株式会社テラ・ヘルスプロモーション	大阪府大阪市	
新世薬品株式会社	兵庫県淡路市	
ファーマライズプラス株式会社	東京都中野区	
株式会社鬼怒川調剤センター	栃木県日光市	
株式会社エシックス	新潟県新潟市	
株式会社ドゥリーム	沖縄県嘉手納町	
薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社	東京都中野区	ドラッグ事業
株式会社寿データバンク	栃木県足利市	医学資料保管・管理事業